



世田谷区重症心身障害児(者)を守る会

かいほう

10月号

2025年10月25日発行

創立 50 周年を迎えて

世田谷区重症心身障害児(者)を守る会が創立 50 周年を迎えました。10 月 26 日(日)には、29 名のご来賓をお迎えし、会員、賛助会員を含め、52 名が集い、創立 50 周年感謝の集いを開催いたしました。

当会は昭和 50 年(1975 年)5 月に、東京都重症心身障害児(者)を守る会の下部組織、世田谷区分会として発足いたしました。振り返りますと、当会の発足に先立つこと 11 年、昭和 39 年に全国重症心身障害児(者)を守る会が誕生しました。そして昭和 44 年に、世田谷区三宿に重症心身障害児療育相談センターが設立され、行き場のない重い障害児者のため独自の事業としてあけぼの学園を開校しました。その後あけぼの学園に区内の重症心身障害児者がお世話になるようになり、「子どもたちが、住み慣れたここ世田谷で当たり前のように暮らしていけるように。」という親たちの強い思いから、昭和 50 年に竹中康彦氏を初代会長として世田谷区分会が誕生いたしました。

50 年の歩みを振り返りますと、当会は、守る会の三原則のもと、全国守る会、東京都支部と連携して、重症心身障害児者の権利擁護や福祉の向上、医療、教育、今ではインクルーシブ社会の実現など、多岐にわたる活動に取り組んでまいりました。これらの活動は、行政機関をはじめ、関係団体、そして地域社会の皆様のご理解とご支援があってこそ実現できたものです。改めて、深く感謝申し上げます。

また、これまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。制度の壁、社会的な偏見や差別など、さまざまな障壁に直面してまいりました。しかし、皆様のご理解、ご支援、そして家族の思いが、これらの困難を乗り越えようとする大きな力となったものと思います。

これからの時代、多様性と共生社会がより一層求められるようになります。当会も、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて、これからも重症心身障害児者の声を社会に届けて活動してまいります。今日まで当会を支えてくださったすべての方々に重ねて感謝申し上げますとともに、引き続きご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

村井 やよい



月例会

◎令和 7 年 11 月 6 日(木)

◎令和 7 年 12 月 4 日(木)

10:30~12:00

児童相談所内 会議室 B

※会場は十分な感染対策の上開催いたします。出席される方は、各自感染対策をお願いいたします。



ポニーの部屋(プール)

◎令和 7 年 11 月 24 日(月・振替)

◎令和 7 年 12 月 28 日(日)

13:00~14:30

児童相談所内 水中活動室

参加希望の方は、活動日の 3 日前までに川口までご連絡ください。03-3439-6158 夕方 4 時以降に。